

スポーツ振興対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 平成30年10月18日（木）～19日（金）

2 調査の概要

10月18日（木）

（1）（株）つくばウエルネスリサーチ（千葉県柏市）

（株）つくばウエルネスリサーチは、筑波大学発のベンチャー企業として、筑波大学の最新の知見を反映し、効果が確認され、科学的に実証されたサービスを提供されている。

その中で、平成26年度より、広域連携6自治体（新潟県見附市、福島県伊達市、栃木県大田原市、千葉県浦安市、大阪府高石市、岡山市）および筑波大学とともに、健康づくりに取り組めていない方の行動変容を促す施策として、インセンティブ付きの健幸ポイント事業を3年間実施され、事業の実施による効果として、身体活動量の向上、メタボリックシンドロームの改善、医療費抑制効果を確認されている。

ついては、当該事業内容等を調査することにより、本県におけるスポーツを活用した健康増進の取り組みの参考とした。



（2）笠松運動公園（茨城県ひたちなか市）

笠松運動公園は、1974年に茨城県で開催された第29回国民体育大会等のメイン会場として整備され、県内外の各種スポーツ競技の場として、生涯スポーツ・レクリエーション活動の場として幅広く利用されている。

当公園では、2019年に茨城県で開催される第74回国民体育大会等においても、総合開・閉会式、陸上競技、水泳が開催される予定であり、公園内の陸上競技場等の運営状況を調査することにより、本県の国民スポーツ大会等の開催に向けた施設整備の参考とした。

また、併せて茨城県の国体等の開催に向けた取り組み状況を調査することにより、本県の国民スポーツ大会等の開催に向けた取り組みの参考とした。



10月19日（金）

（3） 日立市池の川さくらアリーナ（茨城県日立市）

日立市池の川さくらアリーナは、東日本大震災で被災した市民運動公園中央体育館を改築し、平成28年に完成した総合体育館である。

当アリーナは、2019年に茨城県で開催される第74回国民体育大会において、体操、卓球および男子バスケットボールが開催される予定であるとともに、市民スポーツ・レクリエーションの中心施設、スポーツ大会や文化イベント等で人々が集う広域交流拠点施設として、また災害時の防災・減災への対応を可能とする複合的な機能を有した体育館として整備された。

本県においても、2024年の第79回国民スポーツ大会等の開催を契機として、スポーツ・健康づくりの拠点となる新県立体育館の整備が予定されており、当アリーナの運営状況を調査することにより、本県の国民スポーツ大会等の開催に向けた施設整備の参考とした。

